

11月 4日(木) ~ 30日(火)

令和3年度平和事業  
【平和資料展】



新型コロナウイルス感染症の影響を受け延期されていた平和資料展が町中央公民館にて開催されました。展示内容は沖縄戦に動員された「全学徒隊」に関する資料および町内中学生による「平和」をテーマに自由な発想で描かれた「チョークアート」4点。チョークアートの制作に携わった西原中3年加藤優佳さんは「この作品は戦争を体験していない私たちが「戦争の悲惨さを語り継ぎ、これからも平和を守り抜く」という意思が込められている。チョークアートの制作を通して仲間と一緒に平和への思いを一つにできた」と想いを述べました。

11月 12日(金)

『お絵かきで届けよう！  
明るい未来』事業表彰式



(公社)島尻青年会議所(平良寿成理事長)主催の「ありがとう」をテーマに『お絵かきで届けよう！明るい未来』事業による町内9学童の作品展示が行われ、その中から町長賞に選ばれた作品の表彰式が行われました。この事業は、度重なる緊急事態宣言の中、日頃の感謝や前向きなメッセージを子どもたちから発信し、地域住民を笑顔にする機会を提供することを目的に開催されました。今回「町長賞」に選ばれた美原学童クラブの代表児童、桃原芙羽亜(西原小2年)さん、津波古滯(西原小2年)さん、外間亘(西原小1年)さんは「西原町からコロナが無くなりますようにと願って描きました。町長賞をありがとうございます」と喜びを述べました。

西原さわふじマルシェ 1周年みんなで感謝祭

日時：12月11日(土)・12日(日) 9:00 ~ 17:00 ※雨天決行  
場所：西原さわふじマルシェ(西原町役場向かい)

企画案 JA うんたま市場内での特売フェア / 詰め放題企画 / ヒージャー汁販売  
草花・苗木のプレゼント / キッチンカーフェス / 植木市 / ふわふわ遊具 / 電気自動車試乗会 など..  
※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、イベント内容を変更します。ご了承ください。



イベントに関するお問い合わせ先  
西原さわふじマルシェ管理事務所  
☎(098)945-7411

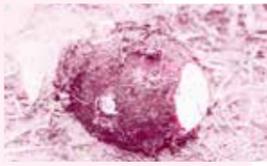
最新情報は  
こちらから▶



お問い合わせ 文化課 文化財係 ☎944-4998



冬至のころはイモの収穫を祝う季節でもあります。



参考文献：『西原町史』第四巻資料編「西原の民俗」一九八九年『沖繩タイムス大百科事典』沖繩タイムス社一九八三年

シマクサラシの行事は途絶えてから久しいですが、トウンジージュシーを食べる習慣はまだ残っていますよね。

シマクサラシの行事は途絶えてから久しいですが、トウンジージュシーを食べる習慣はまだ残っていますよね。

南国沖縄でも、さすがに三月は肌寒さを感じますよね。今年二日はトウンジージュシーにあたり、トウンジージュシー(冬至の寒さ)と表現される節気になります。

冬至の行事は日本各地でみられますが、西原ではトウンジージュシー(冬至雑炊)と呼ばれるターナム(田イモ)を入れた雑炊を作り、ヒヌカン(火の神)やトートロー(仏壇)に供えて、家族の健康を祈った後、みんなで食しました。石垣島では、初正月とか冬至正月などと呼ばれ、西表島祖納では、御嶽や家々で椿の花を飾り二年の願いの終わりの日と位置づけられていました。静かな祈りがささげられていたのでしょうか。それは対照的に、宮古島ではソীগチガマとか小正月と呼ばれ、役人層を中心に牛や豚を屠(ほふ)り、盛んに祝ったといわれます。

西原の掛保久では旧暦二月二日(今月五日にあたる)は、シマクサラシが行われ、ヤナカジ(悪風・流行病やムン又キ物の怪が入ってこないよう祈願しました。それが年に三回も行われていたといわれます。集落との境や入口にはヒジヤインナ(左縄と呼ぶ縄を張り、その縄に牛や豚の骨または肉片をつり下げておきます。この日は、牛あるいは豚の肉を炊いて食べるので、行事の名称をシクエーヨー(肉食えよ)と呼ぶところがありました(掛保久、嘉手苅、小那覇など)。きつと年中行事に供えられる料理を、みんな心待ちにしていたことでしょうか。

文化財コラム  
トウンジージュシー(冬至)のはなし

わったー! 11月 1日(月) 10月 29日(金) 10月 14日(木) 10月 29日(金) 10月 15日(金) 11月 1日(月)



イベント  
フォトギャラリー

しまくとぅば普及功労表彰



町文化協会しまくとぅば部会会員として活動する小波津ミエ子さんが、県からしまくとぅば普及功労表彰を受け町役場において表彰伝達式が行われました。小波津さんは、平成18年から西原南幼稚園で童歌や手遊びなどで方言の楽しさを伝えながら「しまくとぅばの先生」としてスタートしたのをきっかけに、町中央公民館での講座や小学校、児童館で方言指導を行うなど、約15年間にわたり普及・継承活動に取り組んできました。

今回の表彰を受け小波津さんは今までの活動を振り返り「たいへん嬉しく思う。どうしたら子どもたちに分かってもらえるか工夫しながらも、方言をつかった絵本の読み聞かせや手遊びなど子どもたちと一緒に楽しく遊びながら教えてくれた。元気なうちはしまくとぅばの普及・継承活動を続けていきたい。」と感謝と今後の目標を述べました。

令和3年西原町戦没者追悼式



令和3年西原町戦没者追悼式が西原の塔で執り行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小して町三役及び関係職員のみで、先の大戦で犠牲になられた方々のご冥福と恒久平和を祈念いたしました。

令和3年度コミュニティ助成(追加募集)決定通知式



(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施している「令和3年度コミュニティ助成事業(追加募集)」において、兼久自治会(石嶺辰夫会長)が決定し、町役場で通知式が行われました。

※広報紙に掲載する写真については、撮影時のみマスクを外しております。

地域見守りネットワーク事業 協定締結式



「西原町地域見守りに関する協定」締結式  
株式会社リウボウストア(仲村兼作専務取締役)による移動スーパーとくし丸を事業展開するにあたり、西原町及び西原町社会福祉協議会(大城幸哉会長)と見守りネットワーク事業協力に係る協定締結式が行われました。本事業は高齢者や買い物に困っている方向けに週に1~2回訪問販売を行うとともに、行政及び町社協と協力し高齢者の見守り活動や防犯強化に努め、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせることを目的としています。10月20日(水)には浦西リウボウでとくし丸の出発式が行われ、本事業が開始されました。

【とくし丸についてのお問い合わせ】  
浦西リウボウ ☎098-871-1811



エヌアイイー N I E 実践指定校 認定証交付



坂田小学校(金城明美校長)、西原中学校(友寄ゆかり校長)、西原南小学校(與座衛校長)が、学校等で新聞を教材として活用し、社会性豊かな青少年の育成や活字文化と民主主義社会の発展などを目的とするN I E実践校として、日本新聞協会および県N I E推進協議会からそれぞれ指定されました。仲村守和県N I E推進協議会会長は「同中学校区から3校の認定は県内初。他地域のモデルになるよう、小中の連携をいかに取り組みに期待している」と激励しました。新島 悟 教育長は「町内の児童生徒の新聞への投稿掲載が増えることで地域の方々为学校生活を知ることができ、N I Eの実践で地域や学校も活性化につながる」と述べました。